



Digital Garage

2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社デジタルガレージ

コード番号 4819 URL https://www.garage.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役 兼 社長執行役員グループCEO (氏名) 林 郁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 専務執行役員 (氏名) 曾田 誠 TEL 03-6367-1111
コーポレートストラテジー本部管掌

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	52,888	84.2	33,679	259.8	22,640	271.3	22,801	262.3	22,210	191.5
2021年3月期第3四半期	28,711	0.1	9,361	△9.9	6,098	△18.2	6,293	△16.4	7,620	△11.8

	基本的1株 当たり四半期利益	希薄化後1株 当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	494.49	447.15
2021年3月期第3四半期	136.67	124.90

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	221,933	84,944	83,521	37.6
2021年3月期	178,301	63,082	62,134	34.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	ー	0.00	ー	32.00	32.00
2022年3月期	ー	0.00	ー		
2022年3月期(予想)				ー	ー

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2022年3月期における期末配当予想は未定であります。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

インキュベーションテクノロジー事業にて展開する国内外の未公開企業等への投資・育成分野において、当社グループが保有する有価証券の期末時点における公正価値を合理的に見積もることが困難であるため、連結業績予想の開示は行っておりません。なお、詳細につきましては、(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	47,474,400株	2021年3月期	47,441,900株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,340,460株	2021年3月期	1,363,660株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	46,110,155株	2021年3月期3Q	46,043,559株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社を取り巻く市場環境は、当社グループが事業展開する電子決済市場、インターネット広告市場ともに今後も継続的な成長が見込まれております。2020年の消費者向け電子商取引（BtoC-EC）の市場規模が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により同分野で最も市場規模の大きい旅行サービスが前年比約6割減と大きく影響を受けたことで、前年比0.4%減の19兆2,779億円となりました（注1）。一方で、2018年4月に内閣府主導の下、国内のキャッシュレス決済比率を2017年の21.3%（注2）から2025年に40%とする目標が設定され（注3）、キャッシュレス化が推進されている背景から、今後も電子決済市場の成長が見込まれます。また、2020年のインターネット広告市場においては、社会のデジタル化加速が追い風となり新型コロナウイルス感染症拡大の影響から先行して回復し、インターネット広告費は前年比5.9%増となる2兆2,290億円となり（注4）、引き続き市場成長が見込まれております。

出所 （注1）経済産業省「令和2年度産業経済研究委託事業（電子商取引に関する市場調査）報告書（2021年7月）」

（注2）一般社団法人キャッシュレス推進協議会「キャッシュレス・ロードマップ 2020（2021年5月）」

（注3）経済産業省「キャッシュレス・ビジョン（2018年4月）」

（注4）(株)電通「2020年日本の広告費」

（単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
収 益	28,711	52,888	24,177	84.2
税 引 前 四 半 期 利 益	9,361	33,679	24,318	259.8
四 半 期 利 益	6,098	22,640	16,542	271.3
親 会 社 の 所 有 者 に 帰 属 す る 四 半 期 利 益	6,293	22,801	16,508	262.3
四 半 期 包 括 利 益	7,620	22,210	14,590	191.5

当第3四半期連結累計期間の収益は52,888百万円（前年同期比84.2%増）、税引前四半期利益は33,679百万円（前年同期比259.8%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は22,801百万円（前年同期比262.3%増）、四半期包括利益は22,210百万円（前年同期比191.5%増）となりました。当第3四半期連結累計期間は、インキュベーションテクノロジー事業において、営業投資有価証券の公正価値が大幅に伸長し、フィナンシャルテクノロジー事業においては主力の決済事業が堅調に推移しました。また、事業セグメントに属していない全社共通の金融資産（投資有価証券）の公正価値測定による評価益も計上し、これらの結果、増収増益となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

		前第3四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	前年同期比	
				増減額	増減率 (%)
フィナンシャル テクノロジー事業	収 益	7,273	8,005	731	10.1
	税引前四半期利益	3,242	3,492	249	7.7
マーケティング テクノロジー事業	収 益	9,549	9,406	△144	△1.5
	税引前四半期利益	458	488	30	6.5
インキュベーション テクノロジー事業	収 益	7,883	21,237	13,354	169.4
	税引前四半期利益	6,849	20,116	13,267	193.7
ロングタームインキュ ベーション事業	収 益	3,751	3,429	△323	△8.6
	税引前四半期利益	1,448	1,983	536	37.0
調 整 額	収 益	254	10,811	10,557	—
	税引前四半期利益	△2,637	7,599	10,236	—
合 計	収 益	28,711	52,888	24,177	84.2
	税引前四半期利益	9,361	33,679	24,318	259.8

〔フィナンシャルテクノロジー事業〕

フィナンシャルテクノロジー事業では、Eコマース（EC）をはじめとするBtoCの商取引に必要なクレジットカード決済やコンビニ決済等の電子決済ソリューション及び決済周辺サービス等の提供を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、決済事業を展開する㈱DGフィナンシャルテクノロジー及び㈱イーコンテクストが、多様な決済ソリューションを提供し高成長を継続致しました。新型コロナウイルス感染症拡大による特需の一部反動あるも、EC市場拡大による取扱い増加や旅行関連決済の回復に加え、モバイルオーダー事前オンライン決済等の新規決済手段による取扱いや国内中心に対面決済の取扱いが好調に増加し、決済取扱高は前年同期比約17%増の約2兆6,596億円、決済取扱件数は同約10%増の約5.3億件まで伸長致しました。

これらの結果、収益は8,005百万円（前年同期比10.1%増）、税引前四半期利益は3,492百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

〔マーケティングテクノロジー事業〕

マーケティングテクノロジー事業では、インターネットとリアルを融合した総合的なデジタルマーケティングや様々なデータを活用したデータマーケティングビジネス等を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、インターネット広告を手掛ける当社マーケティングテクノロジーカンパニーにおいて、主力のデジタルアド事業が堅調に推移致しました。特に、通信キャリア決済・クレジットカード等の金融向けのフィンテック関連プロモーションにおいては、広告取扱高が約28%増の約131億円と好調に増加致しました。一方、受託開発案件の減少やデジタルアド事業において注力業種の見直しを実施したこと等により、収益は9,406百万円（前年同期比1.5%減）、税引前四半期利益は488百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

〔インキュベーションテクノロジー事業〕

インキュベーションテクノロジー事業では、国内外のスタートアップ企業等への投資及び当社グループ内の事業との連携による投資先の育成等を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、投資先のIPO、ファイナンスによる公正価値の大幅増加及び海外上場銘柄を中心に売却したこと等により、収益は21,237百万円（前年同期比169.4%増）、税引前四半期利益は20,116百万円（前年同期比193.7%増）となりました。

また、営業投資有価証券の残高は、66,699百万円（前連結会計年度末比41.4%増）となりました。

〔ロングタームインキュベーション事業〕

ロングタームインキュベーション事業では、当社グループがこれまで培ってきた投資育成や事業開発のノウハウを活かし、中長期的かつ継続的な事業利益の創出に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間は、前連結会計年度において事業譲渡を実施したこと等により減収となりましたが、持分法適用会社である㈱カカコム等の業績が回復に向かったこと等により、収益は3,429百万円（前年同期比8.6%減）、税引前四半期利益は1,983百万円（前年同期比37.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2021年12月31日)	前連結会計年度末比	
			増減額	増減率 (%)
流動資産	113,548	140,611	27,063	23.8
非流動資産	64,753	81,321	16,568	25.6
資産合計	178,301	221,933	43,631	24.5
流動負債	56,865	66,489	9,625	16.9
非流動負債	58,355	70,499	12,144	20.8
負債合計	115,220	136,989	21,769	18.9
資本合計	63,082	84,944	21,862	34.7

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて43,631百万円増加し、221,933百万円となりました。この主な要因は、決済事業等に係る営業債権及びその他の債権が6,433百万円減少した一方、営業投資有価証券が19,530百万円、現金及び現金同等物が14,144百万円、投資有価証券等のその他の金融資産（非流動資産）が13,928百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて21,769百万円増加し、136,989百万円となりました。この主な要因は、決済事業等に係る営業債務及びその他の債務が12,801百万円、金融資産の公正価値の増加等により繰延税金負債が8,998百万円、社債及び借入金（流動負債及び非流動負債）が3,089百万円増加したことによるものであります。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べて21,862百万円増加し、84,944百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が配当金により1,475百万円減少した一方、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により22,801百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

インキュベーションテクノロジー事業にて展開する国内外の未公開企業等への投資・育成分野において、当社グループが保有する有価証券の期末時点における公正価値を合理的に見積もることが困難であるため、連結業績予想の開示は行っておりません。

また、新型コロナウイルス感染症のリスクについては、当社業績への影響は限定的であります。今後新型コロナウイルス感染症の経済社会に対する影響が拡大した場合には、当社業績に影響を与える可能性があります。

なお、当社グループは、2021年3月期を初年度とし「Designing our New Normal Context」をスローガンに掲げた中期経営計画（2021年3月期から2025年3月期までの5ヵ年）を策定しております。フィナンシャルテクノロジー事業、マーケティングテクノロジー事業につきましては、中期経営計画にて掲げております年平均成長率20%程度の利益成長を目指すほか、ロングタームインキュベーション事業におきましては、持分法適用会社である㈱カカコムの利益貢献に加え、国内外で戦略的事業を創出・育成することで年平均成長率15%程度の利益成長を目指して参ります。また、インキュベーションテクノロジー事業におきましては、ROI2.5倍をハードルレートとして設け、この基準を達成する水準において投資・回収を実行して参ります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	37,989	52,132
営業債権及びその他の債権	26,574	20,141
棚卸資産	264	268
営業投資有価証券	47,170	66,699
その他の金融資産	912	277
未収法人所得税等	21	4
その他の流動資産	618	1,089
流動資産合計	113,548	140,611
非流動資産		
有形固定資産	19,478	19,097
のれん	7,689	7,940
無形資産	4,000	4,174
投資不動産	2,924	2,994
持分法で会計処理されている投資	22,446	25,026
その他の金融資産	7,878	21,806
繰延税金資産	60	33
その他の非流動資産	278	252
非流動資産合計	64,753	81,321
資産合計	178,301	221,933

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	9,768	8,552
営業債務及びその他の債務	39,911	52,712
その他の金融負債	1,712	1,696
未払法人所得税等	1,328	196
その他の流動負債	4,146	3,334
流動負債合計	56,865	66,489
非流動負債		
社債及び借入金	35,850	40,155
その他の金融負債	12,168	11,072
退職給付に係る負債	452	478
引当金	485	484
繰延税金負債	8,515	17,513
その他の非流動負債	885	797
非流動負債合計	58,355	70,499
負債合計	115,220	136,989
資本		
資本金	7,637	7,681
資本剰余金	4,566	4,905
自己株式	△4,915	△4,831
その他の資本の構成要素	2,062	1,455
利益剰余金	52,785	74,312
親会社の所有者に帰属する持分合計	62,134	83,521
非支配持分	947	1,423
資本合計	63,082	84,944
負債及び資本合計	178,301	221,933

(2) 要約四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
収益		
リカーリング型事業から生じる収益	18,587	18,298
営業投資有価証券に関する収益	7,496	18,106
その他の収益	614	752
金融収益	18	11,914
持分法による投資利益	1,996	3,819
収益計	28,711	52,888
費用		
売上原価	8,052	7,811
販売費及び一般管理費	10,441	10,830
その他の費用	247	287
金融費用	610	281
費用計	19,351	19,209
税引前四半期利益	9,361	33,679
法人所得税費用	3,263	11,038
四半期利益	6,098	22,640
四半期利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	6,293	22,801
非支配持分	△195	△161
1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	136.67	494.49
希薄化後1株当たり四半期利益	124.90	447.15

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
収益		
リカーリング型事業から生じる収益	6,138	6,226
営業投資有価証券に関する収益	2,226	4,378
その他の収益	214	202
金融収益	17	513
持分法による投資利益	853	1,461
収益計	9,447	12,779
費用		
売上原価	2,459	2,662
販売費及び一般管理費	3,400	3,696
その他の費用	69	99
金融費用	195	69
費用計	6,123	6,526
税引前四半期利益	3,324	6,253
法人所得税費用	1,110	2,022
四半期利益	2,214	4,232
四半期利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	2,290	4,305
非支配持分	△75	△74
1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	49.70	93.33
希薄化後1株当たり四半期利益	45.35	84.62

(3) 要約四半期連結包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	6,098	22,640
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産 の公正価値の純変動	1,838	△564
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	9	△14
純損益に振り替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	△324	147
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	0	△0
税引後その他の包括利益	1,522	△431
四半期包括利益	7,620	22,210
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	7,814	22,369
非支配持分	△194	△160

(第3四半期連結会計期間)

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	2,214	4,232
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産 の公正価値の純変動	174	△157
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	5	△4
純損益に振り替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	△160	126
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	0	△0
税引後その他の包括利益	20	△35
四半期包括利益	2,234	4,196
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,309	4,269
非支配持分	△75	△73

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	確定給付制度の再測定	
2020年4月1日 残高	7,591	4,409	△5,012	△798	1,125	△2	324
四半期利益(△損失)							—
その他の包括利益				1,846	△324		1,522
四半期包括利益	—	—	—	1,846	△324	—	1,522
新株の発行	37	37					—
支配継続子会社に対する持分変動		△3					—
配当金							—
株式報酬取引		156	97				—
自己株式の取得			△0				—
その他		△0					—
所有者との取引額等合計	37	190	97	—	—	—	—
2020年12月31日 残高	7,628	4,599	△4,915	1,048	801	△2	1,846

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
2020年4月1日 残高	44,721	52,033	762	52,795
四半期利益(△損失)	6,293	6,293	△195	6,098
その他の包括利益		1,522	1	1,522
四半期包括利益	6,293	7,814	△194	7,620
新株の発行		74		74
支配継続子会社に対する持分変動		△3	396	393
配当金	△1,749	△1,749		△1,749
株式報酬取引		253		253
自己株式の取得		△0		△0
その他		△0		△0
所有者との取引額等合計	△1,749	△1,425	396	△1,029
2020年12月31日 残高	49,265	58,423	964	59,386

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			合計
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	確定給付制度の再測定	
2021年4月1日 残高	7,637	4,566	△4,915	853	1,217	△7	2,062
四半期利益(△損失)							—
その他の包括利益				△577	146		△432
四半期包括利益	—	—	—	△577	146	—	△432
新株の発行	44	44					—
支配継続子会社に対する持分変動		170					—
連結範囲の変動							—
配当金							—
株式報酬取引		188	84				—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△175			△175
その他		△63					—
所有者との取引額等合計	44	339	84	△175	—	—	△175
2021年12月31日 残高	7,681	4,905	△4,831	100	1,362	△7	1,455

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
2021年4月1日 残高	52,785	62,134	947	63,082
四半期利益(△損失)	22,801	22,801	△161	22,640
その他の包括利益		△432	1	△431
四半期包括利益	22,801	22,369	△160	22,210
新株の発行		87		87
支配継続子会社に対する持分変動		170	569	739
連結範囲の変動		—	67	67
配当金	△1,475	△1,475		△1,475
株式報酬取引		272		272
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	175	—		—
その他	25	△38		△38
所有者との取引額等合計	△1,274	△983	636	△347
2021年12月31日 残高	74,312	83,521	1,423	84,944

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	9,361	33,679
減価償却費及び償却費	2,715	2,689
受取利息及び受取配当金	△18	△11
支払利息及び社債利息	179	179
持分法による投資損益 (△は益)	△1,996	△3,819
投資有価証券に関する損益 (△は益)	49	△11,666
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	4,848	6,489
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△7,565	△19,427
棚卸資産の増減額 (△は増加)	38	△4
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	8,377	9,772
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,322	△899
その他	1,291	160
小計	18,601	17,143
利息及び配当金の受取額	1,450	1,453
利息の支払額	△55	△48
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△681	△2,464
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,314	16,082
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,414	△1,467
無形資産の取得による支出	△1,161	△982
投資有価証券の取得による支出	△185	△15
投資有価証券の売却による収入	—	340
子会社の取得による支出	—	△301
持分法で会計処理されている投資の取得による 支出	△500	△550
持分法で会計処理されている投資の売却による 収入	79	—
その他	189	114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,992	△2,861
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,732	2,680
長期借入れによる収入	3,026	10,100
長期借入金の返済による支出	△1,939	△9,864
リース負債の返済による支出	△1,407	△1,307
非支配持分からの払込による収入	396	806
配当金の支払額	△1,748	△1,474
その他	39	△86
財務活動によるキャッシュ・フロー	100	856
現金及び現金同等物に係る換算差額	△60	66
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	16,362	14,144
現金及び現金同等物の期首残高	32,702	37,989
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,065	52,132

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下のとおりであります。

なお、当社グループの報告セグメントの利益は、税引前四半期利益をベースとしており、セグメント間の収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	連結
	フィナンシャルテクノロジー事業	マーケティングテクノロジー事業	インキュベーションテクノロジー事業	ロングタームインキュベーション事業			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
収益							
外部収益							
リカーリング型事業から生じる収益	7,167	9,543	—	1,878	18,587	—	18,587
営業投資有価証券に関する収益	—	—	7,496	—	7,496	—	7,496
その他の収益	1	12	311	53	377	237	614
金融収益	0	1	0	0	2	17	18
持分法による投資利益	105	△7	77	1,821	1,996	—	1,996
外部収益計	7,273	9,549	7,883	3,751	28,457	254	28,711
セグメント間収益	71	21	50	1	142	△142	—
収益計	7,344	9,570	7,933	3,753	28,600	112	28,711
セグメント利益	3,242	458	6,849	1,448	11,998	△2,637	9,361

- (注) 1. 報告セグメントの利益の金額の調整額△2,637百万円には、セグメント間取引消去△2,848百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益3,745百万円及び全社費用△3,534百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。
3. セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	連結
	フィナンシャルテクノロジー事業	マーケティングテクノロジー事業	インキュベーションテクノロジー事業	ロングタームインキュベーション事業			
	百万円	百万円	百万円	百万円			
収益							
外部収益							
リカーリング型事業から生じる収益	7,846	9,329	—	1,124	18,298	—	18,298
営業投資有価証券に関する収益	—	—	18,106	—	18,106	—	18,106
その他の収益	1	49	345	162	557	195	752
金融収益	△0	35	1,264	△1	1,297	10,617	11,914
持分法による投資利益	158	△6	1,523	2,144	3,819	—	3,819
外部収益計	8,005	9,406	21,237	3,429	42,077	10,811	52,888
セグメント間収益	54	50	112	1	217	△217	—
収益計	8,058	9,456	21,350	3,429	42,293	10,595	52,888
セグメント利益	3,492	488	20,116	1,983	26,080	7,599	33,679

(注) 1. 報告セグメントの利益の金額の調整額7,599百万円には、セグメント間取引消去△3,459百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益14,834百万円及び全社費用△3,775百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。

3. セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益と調整を行っております。

前第3四半期連結会計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	連結
	フィナンシャルテクノロジー事業	マーケティングテクノロジー事業	インキュベーションテクノロジー事業	ロングタームインキュベーション事業			
	百万円	百万円	百万円	百万円			
収益							
外部収益							
リカーリング型事業から生じる収益	2,492	2,961	—	685	6,138	—	6,138
営業投資有価証券に関する収益	—	—	2,226	—	2,226	—	2,226
その他の収益	0	0	89	47	137	77	214
金融収益	0	0	△0	0	0	17	17
持分法による投資利益	32	△4	△90	914	853	—	853
外部収益計	2,525	2,958	2,225	1,646	9,353	94	9,447
セグメント間収益	21	7	16	1	45	△45	—
収益計	2,546	2,965	2,240	1,647	9,399	48	9,447
セグメント利益	1,141	202	1,861	843	4,048	△724	3,324

- (注) 1. 報告セグメントの利益の金額の調整額△724百万円には、セグメント間取引消去△847百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益1,158百万円及び全社費用△1,035百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。
3. セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	連結
	フィナンシャルテクノロジー事業	マーケティングテクノロジー事業	インキュベーションテクノロジー事業	ロングタームインキュベーション事業			
	百万円	百万円	百万円	百万円			
収益							
外部収益							
リカーリング型事業から生じる収益	2,752	3,056	—	417	6,226	—	6,226
営業投資有価証券に関する収益	—	—	4,378	—	4,378	—	4,378
その他の収益	1	4	135	2	141	61	202
金融収益	△1	29	83	△1	110	403	513
持分法による投資利益	62	2	413	984	1,461	—	1,461
外部収益計	2,814	3,091	5,008	1,402	12,315	465	12,779
セグメント間収益	19	26	7	0	53	△53	—
収益計	2,833	3,117	5,016	1,402	12,368	411	12,779
セグメント利益	1,264	119	4,593	849	6,825	△572	6,253

- (注) 1. 報告セグメントの利益の金額の調整額△572百万円には、セグメント間取引消去△847百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益1,533百万円及び全社費用△1,258百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。
3. セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益と調整を行っております。